



「THE ROYAL EXPRESS 東海道クルーズトレイン」の 三重県初運行について

このたび、東急株式会社と東海旅客鉄道株式会社がＪＲ東海管轄区間で運行する「THE ROYAL EXPRESS 東海道クルーズトレイン」が、１１月から１２月に初めて三重県で運行されます。

「東海道クルーズトレイン」は、東急株式会社の「THE ROYAL EXPRESS」による地域活性化のノウハウと、東海旅客鉄道株式会社が東海エリアで行ってきた地域連携の取り組みを活かしたプランで、今回、「伊勢・志摩の旅」として３回の運行が企画されたところです。３泊４日の旅の途中、乗客の皆様が亀山駅で下車し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている関宿を訪れ、江戸時代の面影を色濃く残すまちなみに触れていただきます。

今回の運行に伴い、クルーズトレインが亀山駅に到着する当日（１１月７日、１１月１４日、１２月１２日）は、市民や関係者で心を込めて乗客の皆様をお迎えします。

亀山市は、明治２３年１２月に関西鉄道の四日市駅・草津駅間の開通により、鉄道の歴史が始まって以来、「鉄道のまち」と呼ばれてきました。鉄道は、人や物の往来、また、地域産業や市民の暮らしを支えてきました。

これまでも鉄道が人やまちをつないできたように、今回の運行が、観光振興や交流人口の拡大、さらには地域の活性化につながることを期待しています。